

一般競争入札を行いますので、京都市交通局契約規程第32条の3の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成19年7月25日

京都市公営企業管理者

交通局長 島田 與三右衛門

1 入札に付する事項

(1) 購入等件名及び数量

音声合成装置（ルートガイダー） 83セット

(2) 購入物品の特質等

入札説明書及び仕様書（以下「入札説明書等」という。）のとおりに

(3) 納入期限

平成19年11月30日

(4) 納入場所

仕様書のとおりに

2 入札参加資格に関する事項

以下に掲げる入札参加資格の種類に応じ、そのすべてを満たす者

(1) 入札の前に確認する資格（以下「事前確認資格」という。）

ア 一般競争入札参加資格確認申請書を提出しようとする日（以下「申請日」という。）の前日において京都市交通局契約規程（以下「規程」という。）第4条第1項に規定する一般競争入札有資格者名簿若しくは規程第24条第1項に規定する指名競争入札有資格者名簿に登録されている者（以下「登録業者」という。）又は登録業者以外の者で申請日の前日までに平成18年12月5日付けの公告に定める資格の申請について本市が受理していること。

イ 申請日から事前確認資格の確認の日までの間において、京都市交通

局競争入札等取扱要綱（以下「要綱」という。）第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止（以下「参加停止」という。）を受けていないこと。

ウ 本件入札に参加しようとする個人、法人の代表者又は個人若しくは法人の代表者の委任を受けた者（以下「代表者等」という。）が本件入札に参加しようとする他の代表者等と同一人でないこと。

エ 購入物品又はこれと同等の物品について、相当数の納入実績を有することを証明できる者。

オ 購入物品を納入後、修理、点検、保守その他のサービス及び部品の供給について、長期にわたり適切かつ迅速に対応できる体制が整備されることを証明できる者。

(2) 開札の後に確認する資格（以下「事後確認資格」という。）

ア 登録業者以外の者で、申請日の前日までに公告に定める資格の申請について本市が受理した者にあつては、開札の時までに公告に定める資格を有する者であると認められていること。

イ 事前確認資格の確認の日から事後確認資格の確認の日までの間において、参加停止を受けていないこと。

3 入札説明書等及び一般競争入札参加資格確認申請書の交付

公告の日から平成19年8月8日まで、下記(1)のウェブページに掲載するとともに、下記(2)の場所においても、無償で交付する。ただし、下記(2)の場所における無償配布の交付時間は、京都市の休日を守る条例に規定する本市の休日（以下「休日」という。）を除く日の午前9時から午後5時まで（ただし、正午から午後1時までの時間帯を除く。）とする。

(1) 京都市交通局契約に関する情報のウェブページのアドレス

<http://www.city.kyoto.jp/kotsu/contract/bid.htm>

(2) 交付場所

〒604-8804 京都市中京区壬生坊城町48番地

京都市交通局本館2階

京都市交通局企画総務部財務課管財契約係

電話 075-822-9132

4 入札方法等

(1) 入札は、次に掲げる方法のいずれかによる。

ア 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード（本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一名義人のもの又は受任者がいる場合には受任者の名義のもので、かつ、落札決定までの期間において有効であるものに限る。）を取得したうえで、京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信する方法（以下この方法により入札しようとする者を「インターネット利用者」という。）。

イ 入札参加希望者が電子入札により難いやむを得ない理由がある場合は、事前に管理者の承諾を受けることにより、紙による入札（以下この方法により入札する者を「紙入札利用者」という。）を認めることとする。

ウ 書留郵便により入札書を送付する方法（以下この方法により入札しようとする者を「郵便利用者」という。）。

(2) インターネット利用者は、5(1)により入札参加資格確認申請書を送信しようとする日の前日までに京都市電子入札システムの利用者登録を行っていないなければならない。また、所定の期日までに利用者登録したインターネット利用者であっても、5(1)イに定める期限までに京都市電子入札システムに入札参加資格確認申請書を送信しなかった者はイ

インターネットを利用して入札データを送信することはできない。この場合において、その者は入札期間の終了の1時間前までに、書面により申請を行ったときは、紙入札利用者として入札を行うことができる。

(3) 入札金額は、総価を記入すること。落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の105分の100に相当する金額を入力、記入すること。

(4) 入札の前に予定価格、入札参加者の数又は商号（法人にあっては名称）を公表するが、入札参加者が1者となった場合は、入札の前に予定価格の公表は行わない。

5 事前確認資格の確認の手続

(1) 入札に参加しようとする者は、下記イの表の第1欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ第2欄に掲げる提出方法により、それぞれ第3欄に掲げる受付期間内において、下記アに掲げる書類を提出しなければならない。

なお、指定する期間内に必要な書類を提出しない者又は事前確認資格がないと認められた者は、本件入札に参加することができない。

ア 提出書類

(ア) 一般競争入札参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）

(イ) 添付書類

2(1)エ及びオに掲げる条件に係る証明書

(ウ) 返信用封筒（角2）

紙入札利用者及び郵便利用者のみ必要とし、表に返信先を記載し、

簡易書留料金分を加えた料金分の切手をちょう付すること。

イ 提出方法等

第1	第2	第3
インターネット利用者	5(1)アの申請書については、京都市電子入札システムにおいて必要事項を入力し、送信すること。	公告の日から平成19年8月8日までの午前9時から午後5時まで(休日を除く。)
紙入札利用者 郵便利用者	3(2)の場所へ持参し、又は書留郵便を到着させること。	公告の日から平成19年8月8日までの午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで(休日を除く。)

(2) 事前確認資格の確認

一般競争入札参加資格確認申請書の受領後、事前確認資格の確認を行い、その結果を次の表の左欄に掲げる入札方法による区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる方法により通知する。この場合において、資格がないと認めた者に対しては、その理由を付して通知する。

インターネット利用者	事前確認資格の確認結果を電子入札システムにより確認するよう電子メールを送信する。
紙入札利用者及び郵便利用者	平成19年8月15日までに、一般競争入札参加資格確認通知書により通知する。

(3) 事前確認資格がないと認めた者に対する理由の説明

ア 事前確認資格がないと認められた者は、管理者に対し、書面により、事前確認資格がないと認めた理由の説明を求められることができる。

イ 5(3)アの規定により理由の説明を求めようとする者は、5(2)の規定による通知を受けた日から次の表の提出期限の日時までの間に、書面を3(2)の場所へ持参し提出しなければならない(受付時間は、休日を除く日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までに限る。)。管理者は、書面の提出があったときは、同表の発送期日の月日までに書面による回答を発送する。

提出期限	発送期日
平成19年8月22日午後5時	平成19年8月29日

6 入札説明書等に対する質問期限及び回答期日

(1) 入札説明書等に対して質問しようとする者は、管理者に対し、質問事項、住所、商号及び氏名（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名、届出済みの受任者（以下「受任者」という。）がある場合には、受任者に係る事務所の所在地及び氏名）を記載、押印した書面を6(2)の表の提出期限までに、3(2)の場所へ持参し提出しなければならない（受付時間は、休日を除く日の午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までに限る。）。

(2) 管理者は、6(1)による質問を受けたときは、次の表の回答期日までに質問に対する回答書を、3(2)の場所において閲覧できるようにする。

なお、受付期間の経過後は、入札説明書等に対する質問は、一切受け付けない。

提出期限	回答期日
平成19年8月8日午後5時	平成19年8月15日

7 入札期間及び開札日時等

(1) 電子入札システムによる入札期間

インターネット利用者の電子入札システムによる入札期間は、平成19年8月29日（水）、8月30日（木）、8月31日（金）（午前9時から午後5時まで）とする。

(2) 紙入札による入札期間

平成19年8月31日（金）午後5時まで（ただし、受付時間は午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時まで）に、3(2)の場所に

提出すること。

(3) 書留郵便による入札期間

平成19年8月31日(金)午後5時までに、3(2)の場所に必着させること。

(4) 開札日時

平成19年9月3日(月)午前10時から順次、開札する。

8 事後確認資格の確認

(1) 開札後、事後確認資格の確認を行う。確認を行った結果、事後確認資格がないと認められたときは、その者の行った入札は無効とする。

なお、事後確認資格の確認の結果については、通知を行わない。

(2) 事後確認資格がないと認められた者は、落札決定日の翌日から5日(日数の計算に当たっては、休日を除く。)以内に請求があった場合限り、事後確認資格がないと認めた理由を口頭により通知する。ただし、上記期間内に、書面による通知を請求する旨の書面による請求があった場合には、書面による通知を行う。

9 競争入札参加資格の確認の取消し

管理者は、入札参加資格があると認めた者が、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、その者の入札参加資格を取り消す。この場合において、確認の取消し対象となった入札参加資格が事前確認資格であるときは、その者に対し、その旨を通知するものとする。

(1) 落札決定の日時までに、規程第2条の規定により公告し、又は要綱第14条の規定により定めた2の入札参加者の資格を喪失したとき。

(2) 事前確認資格の確認後、落札決定の日までの期間に、要綱第29条第1項の規定に基づく競争入札参加停止を受けたとき。

(3) (1)及び(2)に掲げるもののほか、本件入札に参加する者に必要な資

格を欠くこととなったとき。

- (4) その他管理者が特に入札に参加させることが不適當であると認めるとき。

10 落札決定日及び落札者の決定方法

落札決定日は、平成19年9月3日(月)とする。予定価格の範囲内で入札し、かつ、事後確認資格があると認められた者の中で、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

11 落札決定の通知等

(1) 落札決定の通知

落札者に対しては、落札した旨を以下のとおり通知する。

ア 落札者がインターネット利用者である場合

落札結果を電子入札システムで確認するよう電子メールを送信する。

イ 落札者が、紙入札利用者又は郵便利用者である場合

落札決定日に電話により通知する。

(2) 落札者以外の入札参加者に対する通知

ア インターネット利用者である場合

落札結果を電子入札システムにより確認するよう、電子メールを送信する。

イ 紙入札利用者又は郵便利用者である場合

落札決定日の翌日から5日(日数の計算に当たっては、休日を除く。次号において同じ。)以内に請求があった場合に限り、落札結果を口頭により通知する。

ただし、上記期間内に、書面による通知を請求する旨の書面による請求があった場合には、書面による通知を行う。

(3) 落札者以外の入札参加者に対する書面による理由説明

落札者とならなかった者は、落札決定日の翌日から5日以内に、その理由について説明を求めることができる。回答は、口頭又は書面（請求が書面によるもので書面による通知を請求したものである場合に限る。）により行う。

(4) 入札の執行結果の公表

入札の執行結果は、原則として落札決定日の翌日から、3(2)の場所での入札執行結果表の閲覧により、確認できるようにする。

12 入札の無効

(1) 規程第7条各号（第3号を除く。）に定めるもののほか、一般競争入札参加資格確認申請書その他の提出書類に虚偽の記載をした者が行った入札は、無効とする。

(2) この入札において、2(1)ウに該当する者の双方が入札したことが判明したときは、当該二者のした入札は、規程第7条第10号に基づきそれぞれ無効とする。

13 禁止事項

(1) 本件入札において落札し、契約の相手方となった者（以下「契約者」という。）は、本件入札において互いに競争相手であった落札者以外の者（以下「非落札者」という。）から契約の履行に必要な物件（落札者の商標を付して製作された物件を除く。以下同じ。）又は役務を調達してはならない。

(2) 非落札者は、契約者に対して、契約の履行に必要な物件又は役務を契約者に供給してはならない。

(3) 前2号の規定は、契約者が、非落札者以外の者を經由して非落札者から契約の履行に必要な物件又は役務を調達したとき及び特許権その他

